

平成30年6月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(6月11日、12日 2日間)

○6月11日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 苦米地 あつ子	1 旧柏崎小学校の解体工事について	(1) 解体スケジュール等及び財源について	教育総務課	1
		(2) アスベスト対策について	教育総務課	3
	2 市立図書館の喫茶らいぶらりについて	閉店の経緯と今後について	図書館	4
	3 道徳教育について	(1) 道徳教科書の採択について	教育指導課	5
		(2) 道徳の授業や評価について	教育指導課	6
	公明党 夏坂 修	3 子どもの眼科検診について	(1) 小中学生の視力低下の現状認識について	学校教育課
(2) 小中学校における眼科検診について			学校教育課	8
4 子どもの防犯対策について		(1) 不審者及び声かけ事案の発生状況について	教育指導課	9
		(2) 学校での地域安全マップの作成及び活用状況について	教育指導課	10
		(3) 学校及び地域における防犯活動について	教育指導課	11

○6月12日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 田端 文明	4 学校給食について	(1) 給食残渣の処理について	学校教育課	12
		(2) 給食費無償化について	学校教育課	13
自由民主・市民クラブ 藤川 優里	2 教育行政について	(1) 当市の学校給食について		
		ア 西地区給食センターの見学コーナーの整備と活用状況について	学校教育課	14
		イ 非常食(ホットとするカレー)の実施状況について	学校教育課	15
	(2) 体育の苦手意識を踏まえた指導の方向性について	総合教育センター	16	
	4 スピードスケート指導者の育成について	(2) 学校教育現場での指導者の現状と育成について	学校教育課	17



## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	1 旧柏崎小学校の解体工事について
発言の要旨	(1) 解体スケジュール等及び財源について
質問内容	① 解体工事のスケジュール、概要及び財源について伺いたい。 ② 解体工事の地域への周知について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○スケジュールは、工事の契約について、本議会に追加提案予定であり、承認をいただき契約を締結し、今年度末の完了を予定。</p> <p>○工事の概要について、解体対象は、校舎、屋内運動場、物置等の小規模建築物、プール・相撲場・バックネット・遊具等の屋外工作物及び樹木となる。</p> <p>○ゆりの木通り沿いの桜の木及び防球ネットは、地域要望に沿い撤去しない。</p> <p>○その他工事として、校舎外壁仕上げ塗装材に含有されているアスベストの除去も行う。</p> <p>○解体費用の財源については、事業費の90%に除却債を充当し、残りの10%については、一般財源による対応を見込む。</p> <p>○事業概要及びスケジュールの地域への周知については、平成29年8月に、「旧柏崎小学校跡地活用関係団体連絡会議」を開催し、柏崎地区連合町内会に向けて、事業の着手及び概要について説明。</p> <p>○平成30年1月に柏崎地区連合町内会合同理事会及び常任理事会等の地域の会議にも出席し、事業の説明だけでなく要望を聞く機会も設けていただいた。</p> <p>○今年度に入ってから、5月に旧柏崎小学校周辺住民を対象に、解体についての住民説明会を開催したところ。</p> <p>○今後は、解体工事業者決定後に、再度住民説明会の開催を予定。工事への理解及び協力について丁寧な説明を心がけていきたい。</p>
担当課	教育総務課

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	①旧校舎の維持管理費用について伺いたい。 ②新校舎へ移転後すぐに、旧校舎解体に着手しなかったのはなぜか伺いたい。 改築事業と同時に解体を行うと、国庫補助金が使えたのではないか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	再質問① ○維持管理費用は年間約 200 万円の経費を要しており、主なものは、機械警備業務に約 75 万円、自家用電気工作物保安管理業務に約 12 万円、用地の草刈及び樹木の剪定等に約 100 万円となる。  再質問② ○柏崎小学校は、平成 23 年 8 月 1 日に移転しており、旧柏崎小学校の跡地活用については、平成 23 年 2 月に、市立学校跡地庁内検討委員会での協議を開始するとともに、平成 24 年 11 月には、柏崎地区連合町内会代表と山車関係者が参加する、旧柏崎小学校跡地活用関係団体連絡会議を立ち上げ、地域や関係団体の意見を聴取し、検討を重ねている。 ○検討開始当初には、地域の意見等を踏まえ、一部耐震性のある校舎について、地域コミュニティ施設や防災備蓄倉庫としての活用を検討。 ○そのため、国庫補助の対象となる新校舎改築事業と旧校舎解体事業を併せて実施することは検討されなかった。 ○その後、跡地活用について検討が進むにつれて、意見が集約され、耐震性のない建物の解体は元より、耐震性のある一部校舎も改修に多額の費用を要することなどから、旧校舎については、全面解体し、跡地の有効活用について検討することとなった。 ○解体には多額の費用が必要であり、財源について検討していたところ平成 28 年 8 月に「八戸市公共施設等総合管理計画」が策定され、除却債の活用が可能となったことから、今年度旧校舎の解体に至ったもの。

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	1 旧柏崎小学校の解体工事について
発言の要旨	(2) アスベスト対策について
質問内容	アスベスト飛散防止対策について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○旧柏崎小学校校舎については、建設年度を踏まえると、外壁の仕上げ塗装材に、アスベスト含有の可能性があったことから、各棟ごとに、外壁仕上げ塗装材から検体を採取・分析調査したところ、アスベストの含有が判明し、除去作業を行うこととなった。</p> <p>○除去作業においては、関係機関への届出、大気汚染防止法に基づく作業基準の遵守等の飛散防止対策を行い、周辺環境及び除去作業員の健康に配慮する必要がある。</p> <p>○具体的な手順としては、アスベスト除去対象となる建物全体をシートで覆い、作業床・壁を隔離養生し、集塵装置を設置し、粉塵等が外部に漏れないようにした上で、作業を行う。</p> <p>○除去作業中は、大気中の浮遊アスベスト濃度等の測定を実施し、飛散防止対策の効果を確認しながら除去作業を行ってゆく。</p>
担当課	教育総務課

## ◎再々質問

再々質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	○アスベスト飛散防止対策について、浮遊アスベストの濃度測定を行うとの事だが、地域住民に対して、測定結果の周知等は考えているのか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○工事業者が決定していないことから、測定頻度・地域への周知等については、決まっていない。</p> <p>○内容等については、今後検討していきたい。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	2 市立図書館の喫茶らいぶらりいについて
発言の要旨	閉店の経緯と今後について
質問内容	喫茶「らいぶらりい」が閉店になった理由について伺いたい。 また、喫茶があった場所を今後どのように利用していくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>【平成 30 年 3 月議会において、時間切れにより答弁なし】</p> <p>○図書館内の喫茶「らいぶらりい」は、読書の普及活動の推進及び文化水準の向上に寄与することを目的として設立された、一般社団法人「八戸市読書団体連合会」により、現在の図書館が開館した昭和 59 年 6 月から営業されていた。</p> <p>○使用料については、喫茶の運営収益が読書普及活動の経費の一部に充てられることから、市の規定により半額減免措置としてきた。</p> <p>○喫茶の経営は、10 年程前までは黒字だったが、その後は利用者の減少で赤字が続き、昨年 2 月に読書団体連合会の代表者から、財政難により閉店したいという申し出があり、昨年 3 月末で閉店に至った。</p> <p>○喫茶閉店後、空きスペースには飲料の自動販売機 1 台を設置し、利用者が自由に飲食したり、休憩や電話ができるスペースとして使用している。</p> <p>○今後の活用については、アンケート調査を実施するなど、利用者の声を踏まえながら検討していく。</p>
担当課	図書館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	八戸市読書団体連合会において喫茶再開を模索している中で、市として何かできないものか。あるいは、障がい者の雇用、参加の場としての使い方を考えた場合、財政的支援はできないか。いずれにしても、喫茶コーナーについてのアンケートを実施し、利用者の要望を把握した上で、今後のことを検討してほしい。

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 道徳教育について
発言の要旨	(1) 道徳教科書の採択について
質問内容	道徳教科書の採択の仕組みや手順について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「特別の教科 道徳」の教科用図書、いわゆる道徳の教科書の採択については、当市は単独採択地区であるため、県の採択基準に準じて市の基準を設定し、採択業務に当たっている。</p> <p>○まず、専門的な知識を有する当市の教員数名が研究調査員として各社の教科書について詳細な調査を行い、選定資料を作成する。</p> <p>○併せて、市内の各学校でも教科書展示会に出席し、教科書について調査を行い、学校の意見をまとめた報告書を市教委に提出する。</p> <p>○次に、学校関係者や保護者の代表等で構成する専門委員会において、研究調査員が作成した選定資料が適切かどうかについて、審議する。</p> <p>○最終的には、教育委員会臨時会において、専門委員会を経た選定資料等をもとに、当市の児童生徒の実態や学校の現状を踏まえて、慎重な審議を行い、もっとも適した教科書を採択する。</p> <p>○以上のように、教科書採択に当たっては、公正かつ厳格な採択を行う。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	学校関係者や保護者等、関係者の意見を広く反映させて採択してほしい。

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 道徳教育について
発言の要旨	(2) 道徳の授業や評価について
質問内容	道徳の教科化による各学校の授業や評価の在り方と市教育委員会による学校現場への支援について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○道徳の教科化に当たり、児童生徒が、現実の困難な問題に主体的に対処することができる実効性のある力を育成する上で、「考え、議論する」道徳への転換が求められている。</p> <p>○授業において、児童生徒に道徳的な問題を自分事として考え話し合わせるためには、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れるなど、指導方法を工夫することが必要となる。</p> <p>○評価については、児童生徒一人一人の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、数値ではなく記述により行う。</p> <p>○市教委では、道徳科の実施に当たり、各学校の実態に応じた年間指導計画の見直しや指導方法、評価について、市総合教育センターの研修講座や学校訪問等を通して具体的に指導助言を行っている。</p> <p>○今後も学校現場との連携を密にし、課題を共有しながら教師の支援に努め、道徳科の授業の充実を通して、児童生徒一人一人の豊かな心の育成に取り組んでいく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	道徳のねらい等、道徳教育の目指す方向性を見定めるとともに、学校現場に対してしっかりと支援をしてほしい。

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 子どもの眼科検診について
発言の要旨	(1) 小中学生の視力低下の現状認識について
質問内容	児童生徒の視力の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小中学校では、毎年4月に全学年の児童生徒を対象として視力検査を実施している。</p> <p>○市内児童生徒の視力の推移を見ると、昨年度の視力1.0未満の割合は、小学生では45.8%、中学生では54.6%であり、30年前の昭和62年度からは、小学生で13.8ポイント、中学生では8.6ポイント増加している。</p> <p>○さらに、小学校期における各学年の推移をみると、以前は5年生頃視力低下が始まっていたが、直近の10年では、2年生頃から始まる傾向が見られている。</p> <p>○このことから、小中学校共に視力低下者が増加している状況にあり、さらには視力低下の始まる時期が低年齢化している傾向にある。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	3 子どもの眼科検診について
発言の要旨	(2) 小中学校における眼科検診について
質問内容	小中学校における眼科検診の現状と視力低下に対する取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○児童生徒の健康診断は、学校保健安全法により定められており、中でも、眼科に関する項目では、「視力」と「眼の疾病及び異常の有無」の検査を6月末までに行うこととなっている。</p> <p>○眼科検診は、小学校では1・4年生、中学校では1年生、その他問診により検査の必要な児童生徒を対象に、学校眼科医が検診を行っている。</p> <p>○内容としては、感染性の疾病、結膜の状態、斜視等について検診し、眼科疾患の早期発見、早期治療に努めている。</p> <p>○近年、視力1.0未満の児童生徒の増加、並びに情報機器等の画面の長時間視聴による影響、コンタクトレンズ使用による疾患等が懸念されてきている。</p> <p>○このことから、各学校においては学校保健委員会を開催し、「ゲーム機・スマホとの上手なつきあい方を考えよう」「目の大切さについて考えよう」などをテーマに、医師等の専門家の講話や話し合い活動を通して、児童生徒と保護者が、生活習慣の改善について一緒に考える取組を行っている。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 子どもの防犯対策について
発言の要旨	(1)不審者及び声掛け事案の発生状況について
質問内容	市立小・中学校の児童生徒に係る不審者事案の発生状況と、発生時の具体的な対応について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○過去5年間に市教委が市立小・中学校から報告を受けた児童生徒に係る不審者事案の発生件数は、平成25年度27件、平成26年度23件、平成27年度24件、平成28年42件、平成29年度19件となっており、毎年、少なからず事案が発生している状況にある。</p> <p>○例年、夏場にかけて増加する傾向にあり、各学校では、定期的な安全指導や防犯教室・不審者対応訓練等の開催により、不審者に遭遇した際の対応について児童生徒に指導している。</p> <p>○具体的な指導内容としては、不審者に遭遇した際は、不審者から離れる。近くの大人や民家・商店に助けを求める。自分の身に危険が生じそうな場合は防犯笛や大声により周囲に知らせるなどについて指導している。</p> <p>○不審者出没等の情報について、家庭において把握した場合は、すぐに110番通報等で警察に知らせ、学校にも連絡すること。学校において把握した場合は保護者の承諾を得た上で、警察に通報することとしている。</p> <p>○さらに、学校は事案発生後、速やかに市教育委員会に報告することとしている。</p> <p>○また、教職員による学区の巡回やPTA、地域の防犯協会等の協力を得てパトロールを実施するなどして児童生徒の安全確保に努めている。</p> <p>○市教委として、きめ細やかな現状の把握と学校や関係機関等との情報共有を行い、児童生徒の安全が確保されるよう、各学校の支援に努めていく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 子どもの防犯対策について
発言の要旨	(2)学校での地域安全マップの作成及び活用状況について
質問内容	学校における地域安全マップの作成状況、及び活用状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○これまでも、市内全小学校において地域安全マップを作成しており、平成 29 年度は、市内小学校 43 校中、36 校において地域安全マップを作成している。</p> <p>○29 年度に作成していない学校においても、隔年で作成したり、以前作成した物を活用したりしながら児童の意識啓発を図っている。</p> <p>○主に、小学4年生または5年生が総合的な学習の時間等において作成しており、PTAや地域住民の協力を得ながら作成している学校もある。</p> <p>○作成した地域安全マップは、校舎内に掲示したり、全校集会等において全校児童に周知する機会を設けたりするなどして、危険箇所の意識の高揚を図るために活用している。</p> <p>○さらに、校外学習や地域探検学習をとおして地域安全マップの検証や見直しを行っている学校もある。</p> <p>○また、参観日や学校のホームページで、保護者や地域に紹介している学校もある。</p> <p>○市教委では、各校の地域安全マップの内容の充実と活用を推進していく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 子どもの防犯対策について
発言の要旨	(3)学校及び地域における防犯活動について
質問内容	学校や地域における登下校時の見守り等の防犯活動の現状と課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小・中学校では、登下校時に教職員やPTAが学校周辺において児童生徒の交通安全指導や見守りを日常的に行っている。</p> <p>○また、地域の防犯協会や交通指導隊等も、児童生徒の登下校の見守りや学区のパトロール等により、児童生徒の安全確保に努めている。</p> <p>○しかしながら、不審者事案が発生した際のパトロール等に即対応できる人員の確保や地域諸団体の高齢化による人員不足等が課題として上げられている。</p> <p>○市教委としては、地域密着型教育の趣旨である「地域の子どもは地域で育てる」を踏まえ、学校と家庭・地域・関係機関等との協働による児童生徒の見守りや安全を確保する体制づくりに一層努めていく。</p>
担当課	教育指導課

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	小学校入学時に、くらし交通安全課から全児童に配付されている防犯笛の携帯状況と非常時の使用についての指導状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小学校では、防犯教室等において防犯笛の携帯状況を確認し、防犯笛の携帯や使用方法について指導している。</p> <p>○中学校では、万が一不審者に遭遇し、自分の身に危険が生じそうな場合は、防犯笛だけでなく、大声で周りに知らせるよう指導している。</p> <p>○市教委としては、「自分の身は自分で守る」を基本とした、非常時における身の守り方や行動の仕方について、児童生徒への周知・徹底が図られるよう、各校の取組を一層支援していく。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○全国防犯協会連合会では、防犯ブザーを推奨し、防犯ブザーについての携帯や使用方法についてホームページでも紹介している。</p> <p>○防犯ブザーには防犯笛の機能を併せもったものもあるが、高額であることやメンテナンス等の課題もある。</p> <p>○防犯ブザーの有用性を検証し、導入を含めて検討して欲しい。</p>

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	田端 文明 議員
発言事項	4 学校給食について
発言の要旨	(1) 給食残渣の処理について
質問内容	給食残渣の処理について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○調理くずや食べ残しなどの給食残渣の処理については、昨年度から市内の全給食センターで、給食残渣の堆肥化を実施している。</p> <p>○給食残渣の年間発生量は、昨年度実績で約 14 万 5 千 kg で、その約 15%程度の約 2 万 3 千 kg の堆肥が、受託業者のリサイクル工場で作られている。</p> <p>○堆肥は、民間事業者の畑等で利用されており、市内の一部の小中学校では無償で提供を受けて、学校菜園での野菜や花作りにも活用されている。</p> <p>○西地区給食センターでは、作業見学やパネル展示により、給食残渣の回収から堆肥化までの工程を分かりやすく紹介するなど、子どもたちが食の大切さや、環境保全の必要性について学べる機会を提供している。</p> <p>○今後も、このような学校教育におけるリサイクル事業の意義や役割の重要性を踏まえながら、引き続き給食残渣の有効利用に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	給食センターの使用済食用油の年間発生量と処理方法について伺いたい
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内 3 箇所の給食センターで発生する使用済食用油は約 1 万 1 千ℓで、全量、廃油買受業者が有償で回収している。</p> <p>○回収された使用済食用油は、畜産飼料としてリサイクルされており、これらの飼料は市内外の畜産業界からの需要も高く、広く利用されている。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	残渣等については、引き続き有効活用をしていくよう希望する。

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	田端 文明 議員
発言事項	4 学校給食について
発言の要旨	(2) 給食費無償化について
質問内容	給食費無償化について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学校給食法等により、学校給食の施設設備費及び運営費は学校の設置者の負担、それ以外の経費として食材料費は保護者の負担とされている。</p> <p>○要保護・準要保護世帯は、保護者の収入や世帯の状況に応じて無償化している。</p> <p>○所得等の制限のない無償化は、住民サービスの向上や、子育て支援などの1つの手段であるが、当市の給食費は平成30年度予算で約10億円であり、財政面に与える影響が非常に大きく、慎重に対応する必要があると考えている。</p> <p>○文科省では昨年度、無償自治体の広がりを受けて「学校給食費無償化調査」を実施した。</p> <p>○今後は、国や県の動向も踏まえながら、給食のあり方について研究していく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○貧困世帯の児童生徒において、学校給食は唯一のバランスよく栄養を摂取できる食事であり、その役割は非常に重要である。</p> <p>○給食は教育の一環であるということから、教育に係る費用として無償化とすべきである。八戸市も無償化という大きな一歩を踏みだしてくれることを期待している。</p>

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	藤川 優里 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 体育の苦手意識を踏まえた指導の方向性について
質問内容	スポーツ庁は第2期スポーツ基本計画において、「運動やスポーツが嫌い・やや嫌い」な児童生徒を半減させる目標を示しているが、体育に苦手意識をもつ子どもに配慮した体育授業の指導について現状を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○小学校5年生及び中学校2年生を対象とした運動・スポーツに対する昨年度の意識調査によると、当市の児童生徒が「運動が嫌い・やや嫌い」と答えた割合は、いずれも全国平均より低い数値であり、良好な状況であった。特に中学校2年女子は16.4%と、全国平均より5ポイント低い数値を示している。</p> <p>○市教委では、学校経営の視点の1つとして、「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりに取り組んでいる。</p> <p>○例えば、鉄棒の逆上がりの授業では、さまざまな傾斜角度をつけた補助板を設けるなど用具を工夫したり、グループの仲間が腰を上方に持ち上げる「お手伝い」をするなど、ペアやグループの仲間が肯定的に関わりながら、「できた」喜びを共有したりしている。</p> <p>○仲間と楽しく関わりながら、成功体験を積み重ねさせることで、体育に少しでもプラスイメージをもつことができた子どもたちは、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する原動力を得ることができると思う。</p> <p>○市教委では、運動やスポーツに苦手意識をもつ児童生徒を減らし、すべての子どもが楽しく、安心して運動に取り組むことができる授業の一層の充実に向け、今後も学校訪問等を通して指導・助言していく。</p>
担当課	総合教育センター

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	藤川 優里 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 当市の学校給食について ア 西地区給食センターの見学コーナーの整備と活用状況について
質問内容	西地区給食センターの見学コーナーの整備と活用状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○西地区給食センター建設にあたり、安心・安全でおいしい給食を提供することはもちろん、市内唯一の食育コーナー設置をはじめ、環境負荷の軽減や地域資源の有効利用、給食残渣のリサイクル、地場製品の活用など、様々な社会的課題への対応を実現させる施設として整備した。</p> <p>○29年度は、小・中学校や幼稚園をはじめ、PTA や民間事業者、近隣市町村の方々など、31 団体、1,033 人が訪れた。</p> <p>○今年度は、より一層多くの方々に活用してほしい。</p> <p>○食育コーナーや見学通路は、当初の展示に加え、給食ができるまでを工程ごとに説明したパネルや、だしのとり方など、展示内容が充実した。</p> <p>○未就学の子どもから大人まで、わかりやすく見ていただけるように工夫した、施設見学者用のパンフレットと DVD も完成した。</p> <p>○今後、市のホームページにも映像を公開するなど、積極的に周知していく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	藤川 優里 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 当市の学校給食について イ 非常食(ホッとするカレー)の実施状況について
質問内容	非常食(ホッとするカレー)の実施状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、給食センターで不測の事態が発生した場合等に、授業の打ち切りを回避するために、給食の代替食として、ごはんや、パン、麺のいずれとも相性のよい「ホッとするカレー」を準備している。</p> <p>○非常食の導入は、安心・安全な給食提供をするために不可欠であり、多くの自治体においても検討されているが、備蓄場所や配送の関係で課題が多く、実施しているところは少数である。</p> <p>○25年度から今年度で導入6年目を迎えるが、食材の確保や設備トラブル等により、非常食を提供した事案が4件あり、授業を打ち切ることなく、平常どおりの活動を行うことができた。</p> <p>○防災教育の一環として東日本大震災が発生した3月11日の「八戸市防災教育の日」に活用している。</p> <p>○災害への備えの大切さや、当たり前前に口にしている普段の食事のありがたさを感じてもらうのがねらいである。</p> <p>○今後もこの「ホッとするカレー」を通じて、児童・生徒に防災意識の重要性を伝えていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○保存状態によっては、ホッとするカレーが冷たいと不評な場合もあるため、給食の時間ではなく、午後の講話で試食する、あるいは家庭に持ち帰って親子で食べられるようにするなどの配慮を要望する。

質問者(議員名)	藤川 優里 議員
発言事項	4 スピードスケート指導者の育成について
発言の要旨	(2) 学校教育現場での指導者の現状と育成について
質問内容	小学校スケート教室の現状と教員の指導力向上のための取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○スケートの指導については、小学校学習指導要領体育編において、各小学校が地域や学校の実態に応じて、取り扱うことができると示されている。</p> <p>○当市では、全小学校で年間1回から3回程度、スケートに慣れ親しむこと等を目標に、スケート教室を実施している。</p> <p>○指導については、各学校が作成する年間計画に基づき、当該校の教員が行っているが、今般、氷都八戸パワーアッププロジェクト事業や東北フリーブレイズによる派遣事業等を利用して、外部指導者を依頼する学校も増加傾向にあり、29年度においては、市内43校中30校が活用している。</p> <p>○外部指導者を活用することにより、児童が適切な技術指導を受けるだけでなく教員も指導法を学ぶよい機会になっている。</p> <p>○また、三八教育事務所主催によるスケートの冬季学校体育実技講習会が毎年開催されている。</p> <p>○市教委では、スケートリンク等への移動にかかる費用を補助する「広域的体験学習支援事業」の利用促進を含め、スケート教室等を実施しやすい環境づくりに努めるとともに、教員の指導力向上に向けて、県教育委員会や関係機関と連携を密にし、外部指導者の活用や研修会への積極的な参加が図られるよう、周知・助言に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	